取扱説明書
CS 10

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

Japanese

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味：

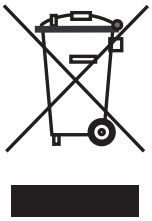
警告！不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業者や周囲の人などに、深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本製品は、適用される EC 指令に準拠しています。

環境マーク。製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示しています。電気・電子機器の再利用を行うため、適切なリサイクル営業所に引き渡す必要があります。



以上を守ることにより本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。

本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。

マシンに付いている他のシンボル/ステッカーは、諸地域固有の各種基準に対応したものです。

警告レベルの説明

警告は三つのレベルで構成されます。

警告！

警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

注意！

注意！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が怪我をしたり、あるいは周囲に損傷を与えたりする危険があることを意味します。

注意！

注意！取扱説明書の指示に従わない場合、材料やマシンに損傷を与える危険があることを意味します。

目次

シンボルマークの意味
シンボルマークの意味： 2
警告レベルの説明 2
目次
目次 3
概要
お客様へ 4
特長 4
概要
マシンの各部名称 5
マシンの安全装置
一般注意事項 6
組立と調整
一般注意事項 7
既存のトラックの利用 7
ベースプレートの固定 7
ワイヤーソーの組立 8
ワイヤーの通し 10
保護カバーの組立 10
冷却水の接続 11
パワーユニットの接続 11
操作
保護的な装備 12
一般的な安全注意事項 12
基本的な作業方法 13
搬送と保管 13
始動と停止
始動前に 14
始動 14
作業手順 15
停止 15
メンテナンス
一般注意事項 16
毎日のメンテナンス 16
サービス 16
主要諸元
CS 10 17
速度とワイヤー速度 17
推奨されるダイアモンドワイヤー 17
EC **適合性宣言**
EC 適合宣言 18

概要

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録されたお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ずご登録ください。http://www.jp.husqvarna.com/node1587.asp

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社の製品をご購入いただくことで、専門的な修理と点検を受けることができます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄のサービス代理店の所在地をお問い合わせください。

当社は、本取扱説明書がお客様のお役に立てることを願っています。説明書の記載内容 (使用方法、サービス、メンテナンスなど) に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を売却する場合、取扱説明書も購入者にお渡しするようにお願いいたします。

300 年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナはスウェーデンの企業で、その歴史は、スウェーデン王のカール 11 世が Huskvarna 川の岸辺にマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれています。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切削装置やダイアモンド工具などのグローバル・リーダーです。

使用者の責任について

マシンを安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、取扱説明書を読んで、それを理解する必要があります。彼らは以下を確認する必要があります。

- マシンの安全に関する説明事項。
- マシンの用途や使用限度の範囲について。
- マシンの使用方法とメンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業エリアに適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

取扱説明書のあらゆる情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

ハスクバーナは継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

特長

ハスクバーナの製品は、高性能、高信頼性、革新的技術、先進的な技術的ソリューション、および環境への対応など、様々な特長により、他社と一線を画しています。

当社製品のユニークな機能を以下に示します。

コンビネーションソー

CS 10 は、駆動源としてウォールソーを併用するコンビネーションソーです。ワイヤーソーを駆動するために、既存の装置が利用できます。

本機は、ハスクバーナ WS 440 HF + PP 440 HF と組み合わせて使用することだけを意図して開発されています。その他の利用は禁止されています。

調整可能なガイドホィール

ガイドホィールは、必要な角度に調整できます。ガイドホィール上のガードも調整可能です。

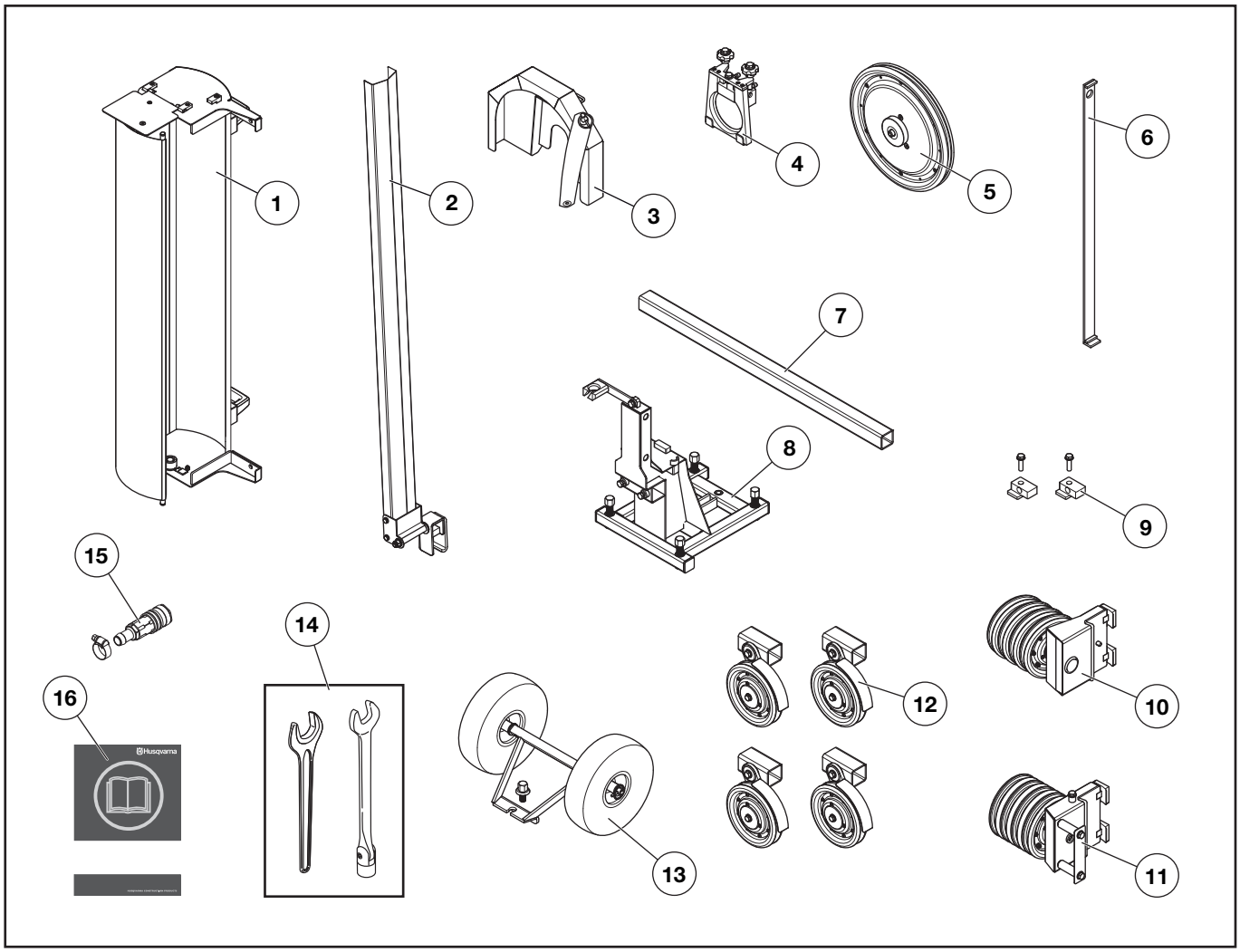
大容量のマガジン

ワイヤーソー全体のワイヤー長は、最大 11.7m (38 フィート）で、マガジン容量は 10m (33 フィート）です。

左右どちら側でも設置可能

ワイヤーソーは、左右どちらの位置でも組み立て可能です。この機能は、隅に近い部分を切断するのに便利です。

概要



マシンの各部名称

1. ホィールガード
2. ワイヤーガード
3. 駆動プーリーガード
4. ガードホルダー
5. 駆動プーリー
6. ドリル固定装置
7. ビーム
8. ベースプレート
9. マウンティング、マガジンカバー
10. 上部マガジン
11. 下部マガジン
12. ガイドホィール
13. トランスポートホィール
14. ツールキット
15. 水コネクター
16. 取扱説明書

一般注意事項

警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

ストップスイッチを STOP 位置にして、電源を切って下さい。

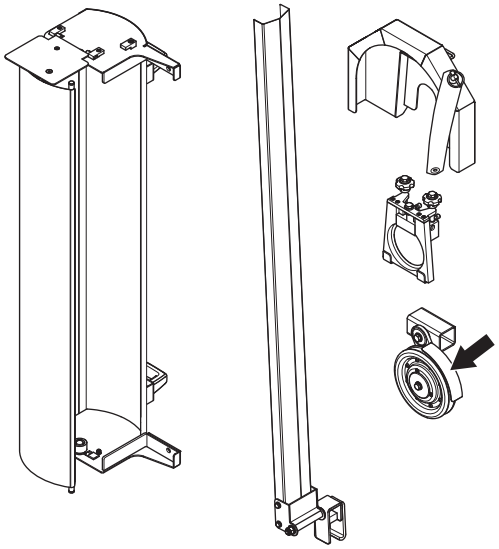
この項目は、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。

本機は、他の製品と組み合わせて使用します。製品に添付された取扱説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。

保護カバー

警告！ガードの付いてないマシンあるいは破損したガードが付いているマシンは、けっして使用しないでください。本機を始動する前は常に、ガードが正しく装着されていることを確認してください。

保護カバーは、切断装置による不慮の接触から利用者を保護し、ワイヤーの破断による事故の危険を防ぐために設計されています。



保護カバーの検査

警告！機械の電源を切り、電源コードをはずします。

- 保護カバーにひび割れや他の損傷がないか検査します。カバーが壊れている場合、交換してください。

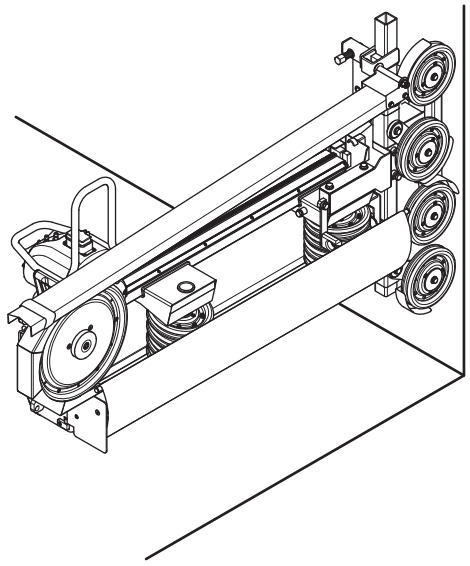
組立と調整

はじめに

警告！損傷したワイヤーにぶつかる危険性がないようにして作業できるよう、常にワイヤーソーの位置に気をつけてください。切断中、関係者以外の人間が作業エリアに近づかないように注意してください。損傷したワイヤーにぶつかると、死亡または重傷につながる事故を引き起こす可能性があります。

切断に際しては、できる限りスムーズに実施できるように、ワイヤーソーを組み立てる前に、注意深く計画を立てる必要があります。

- ワイヤーソーは、壁へ取り付けたり、地面へ立てたりして使用できます。
- ワイヤーソーは、左右どちらの位置でも組み立て可能です。この機能は、隅に近い部分を切断するのに便利です。

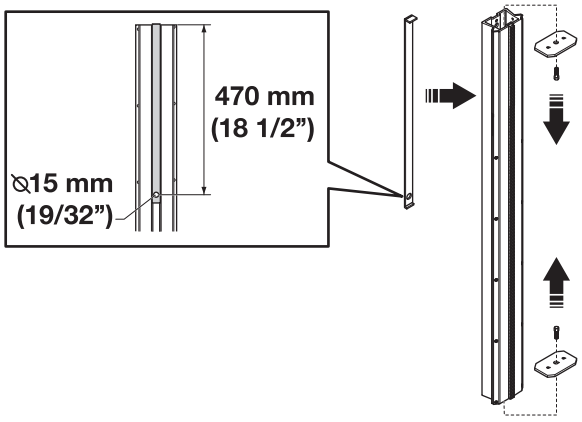


- ワイヤーを通すために、切断する材料へドリル等で穿孔する場合があります。

WS 463、440 のトラックの利用

既存のトラックを利用する場合、いくつかの調整が必要です。

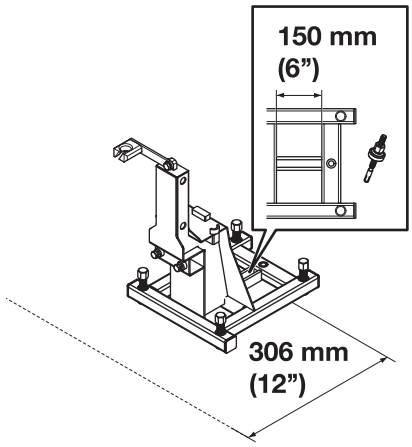
- 先端のストッパーを外します。



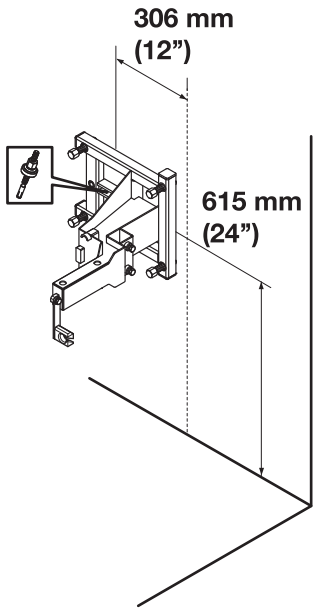
- 先端から 470 mm (18 1/2 インチ)の所に、15 mm (19/32 インチ)の孔をドリルであけます。供給されているドリル固定装置を使用します。孔は、上部マガジンを取り付ける際、必要です。

ベースプレートの固定

- 計画された切断部分の前で、適切な場所にワイヤーソーを設置します。
- アンカーボルトでワイヤーソーを固定します。
- 切断ラインからボルトまでの距離は、306 mm (12 インチ)です。



- 壁に取り付けられたワイヤーソーで、垂直方向に切断する場合、地面からボルトまでの最小距離は 615 mm (24 インチ)です。

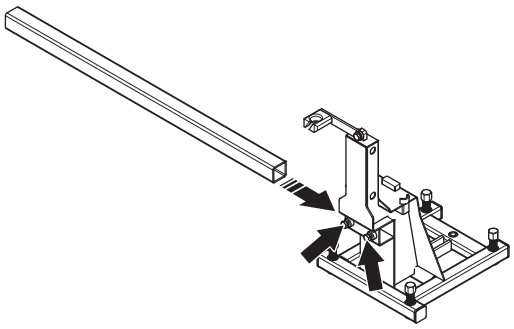


- ベースプレートがアンカーで固定されたら、調整脚のネジを締めて、ワイヤーソーをしっかりと固定します。

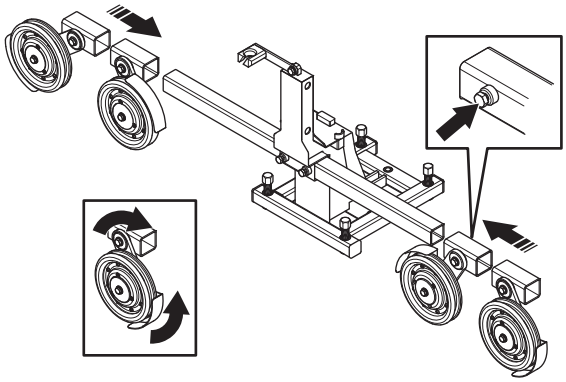
組立と調整

ワイヤーソーの組立

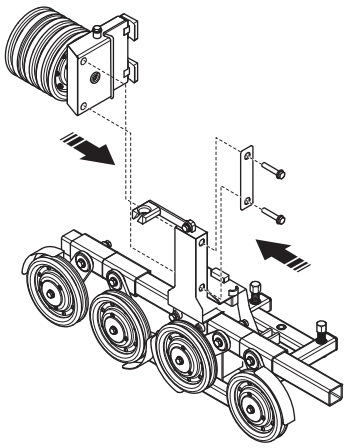
- ベースプレートにビームを取り付けます。



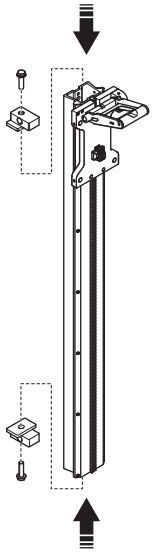
- ビームにガイドホィールを取り付けます。ガイドホィールは、必要な角度に調整できます。ガイドホィール上のガードも調整可能です。



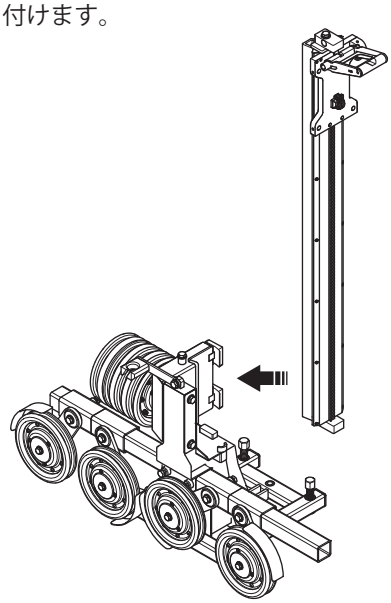
- ベースプレートに下部マガジンを取り付けます。これは、左右どちら側にも取り付けられます。



- ソーキャリッジをレールに取り付けます。

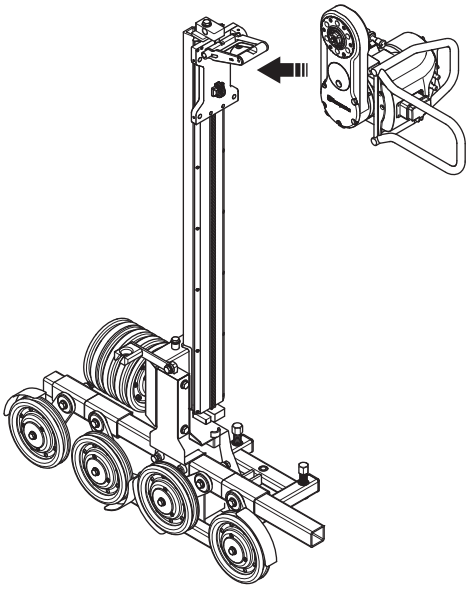


- 下部マガジン上のレール固定部にレールをしっかり取り付けます。



組立と調整

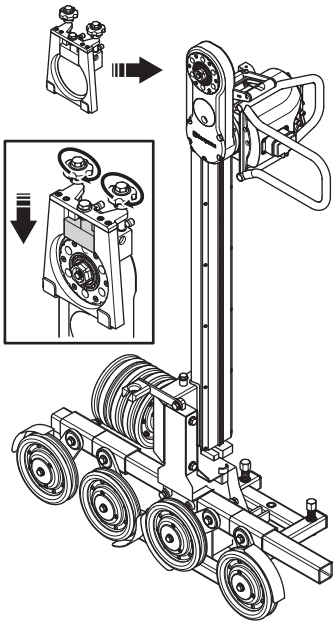
- ソーキャリッジにワイヤーソー用モーターを取り付けます。



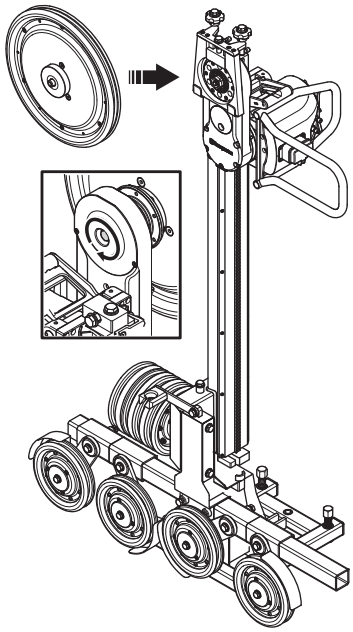
警告！カッティングアームは、常に、レールと同じ方向へ向いている必要があります。デプスフィード機能は、ワイヤーで切断する際、使用しないでください。不注意によって、重傷や死亡事故が起きる可能性があります。

注意！パワーカッターが壁に取り付けられている場合、カバーの内側へ水や汚れが堆積するのを防ぐために、パワーカッターのプラスチックカバーが上へ向いていることを確認してください。

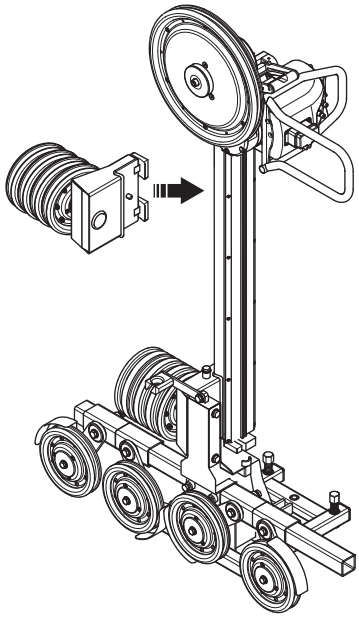
- ワイヤーソーモーターにガードブラケットを取り付けます。固定用ノブを回して、ガードブラケットを固定します。



- ワイヤーソーモーターに駆動ホィールを取り付けます。固定用ネジを締めて、駆動ホィールを固定します。



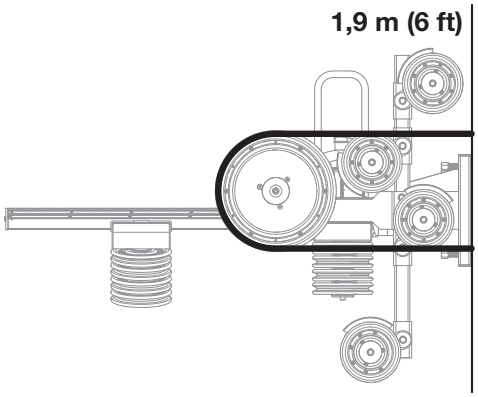
- レールに上部マガジンを取り付けます。上部マガジンのピンとレールの穴の位置を合わせます。



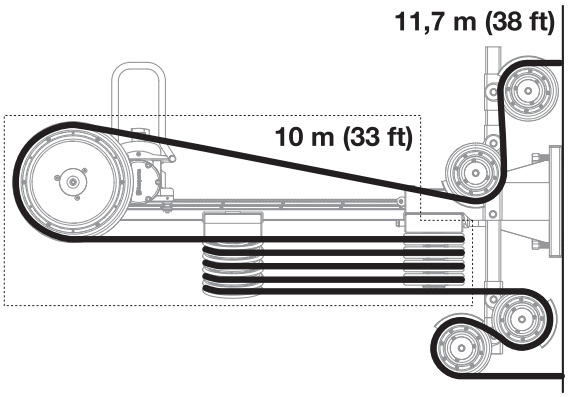
ワイヤーの通し

注意！使用済みワイヤーは、不必要な磨耗を防ぐために、以前に使用された時と同じ方向へ駆動するようにしてください。

- ソーキャリッジをできる限り下へ、動かします。
- 事前に開けられた穴とワイヤーソーの後ろを通るように、切断物のまわりをワイヤーで囲みます。
- ワイヤーソーを通るワイヤーが 1.9 m (6 フィート)の最小サイズの場合、駆動ホィールのみにワイヤーを巻きます。



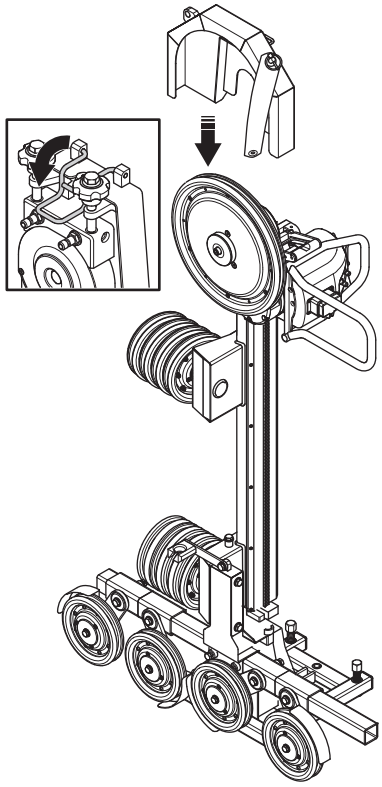
- 切断の進行にともない、マガジン内の最適な数のガイドホィールにワイヤーを通します。ワイヤーソーのワイヤーの最大長は、11.7m（38 フィート）で、マガジンの容量は 10m（33 フィート)です。



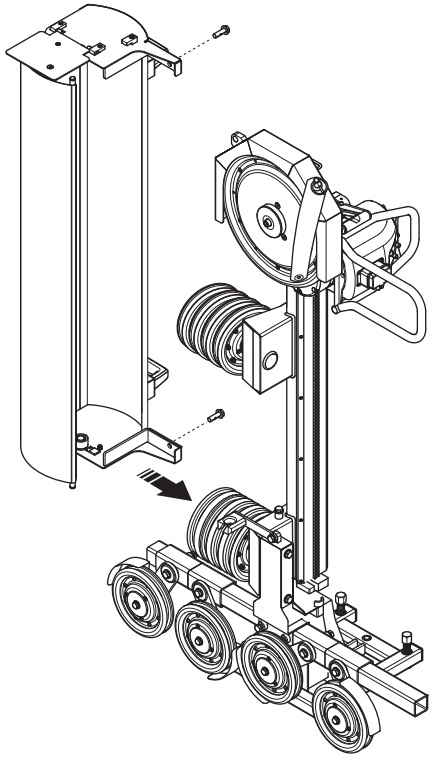
- ワイヤーの接合部を接続する前に、1 メートルあたり 1～2 回、ワイヤーを捻るようにしてください。ワイヤーは、捻る際、同じ方向へ向くようにしながら捻ることが大切です。これは、ワイヤー上のダイアモンドビーズをできる限り均等に磨耗させるためのものです。閉じられたワイヤーは、マシンへ通す前に分離させる必要はありません。

保護カバーの組立

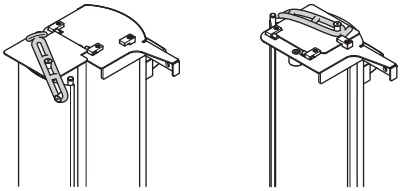
- ガードブラケットに駆動プーリーガードをはめ込みます。固定用ボルトでガードを締めます。



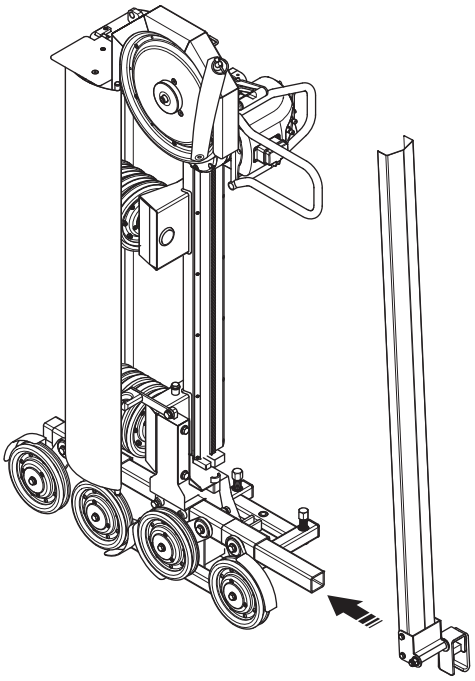
- 機械本体にマガジンカバーを取り付けます。



- マガジンカバーは、ラバーストラップを用いて、開閉いずれの位置でも固定できます。

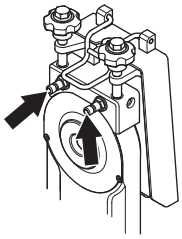


- ビームにワイヤーガードを取り付け、駆動ホィールガード上のブラケット全体を覆います。



冷却水の接続

- ウォーターホースをワイヤーソーモーターから、ガードブラケット上のコネクターのいずれかに接続します。



- 水によって、カッティングアームが冷却されます。
- ガードブラケットにある他のコネクターは、ウォーターホースやウォーターノズルを通してワイヤーの冷却に使用できます。
- したがって、ウォーターノズルは、ワイヤーが入るコンクリートの部分へ設置します。このような方法で、ワイヤーには切削時、冷却水が供給されます。これによってコンクリート粉塵の凝結が促されると同時に、ワイヤーが効率的に冷却されます。

注意！切断時、ワイヤーへ効果的に冷却水を供給するには、材料を切断しながら冷却水の位置を調整することが重要です。調整する際は、常に、マシンを停止することを忘れないでください。

パワーユニットの接続

- ワイヤーソーモーターとパワーユニットに関するご質問については、取扱説明書を参照してください。

保護的な装備

一般注意事項

- 事故のときに、助けを求めることができない状況で、ワイヤーソーを使用してはいけません。

使用者の身体保護具

本機を使用する際は、承認を受けた身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、販売店にご相談ください。

警告！材料の切断、粉砕、穴あけ、研磨、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が発生することがあります。加工する材料の性質をチェックして、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。モーターが停止したら直ぐにイヤマフを外すようにしてください。

常に下記のものを着用してください。

- 承認されたヘルメット
- イヤマフ（耳栓）
- 認可された視覚保護具 防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国の ANSI Z87.1 あるいは EU 諸国の EN 166 規格に適合しなければなりません。バイザーは、EN 1731 規格に適合しなければなりません。
- 呼吸マスク
- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底の防護靴。

使用者の身体保護具

注意！マシンでの作業中、火花や火が発生することがあります。常に、消化装置をお手元に装備してください。

- 消火器。
- 常に救急箱を身近に備えてください。

一般的な安全注意事項

本項目では、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。

- 本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。
- 本機は、他の製品と組み合わせて使用します。製品に添付された取扱説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。
- 周囲の人や彼らの財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。
- 使用者は必ずマシンの操作について訓練を受ける必要があります。購入者は使用者に訓練を受けさせる義務を負います。
- マシンは清潔にしておく必要があります。目印やステッカーは、法規に完全準拠しなければなりません。

警告！不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業者や周囲の人などに、深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

子供やマシンの扱いに不慣れな人間にマシンを使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。

警告！承認のない変更および/または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなくマシンの設計に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

欠陥のあるマシンは絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、訓練を受け、資格のある専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店や熟練ユーザーなどに相談してください。よく理解できていない状態で、作業を行わないでください！

職場の安全

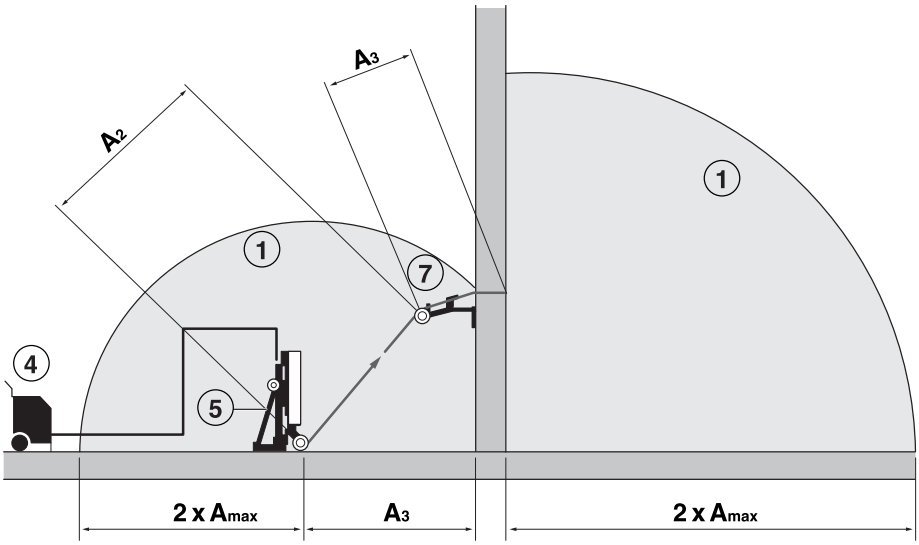
注意！全駆動部品に対する安全な距離は、最低 1.5m です。使用者は、動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任を負っています。

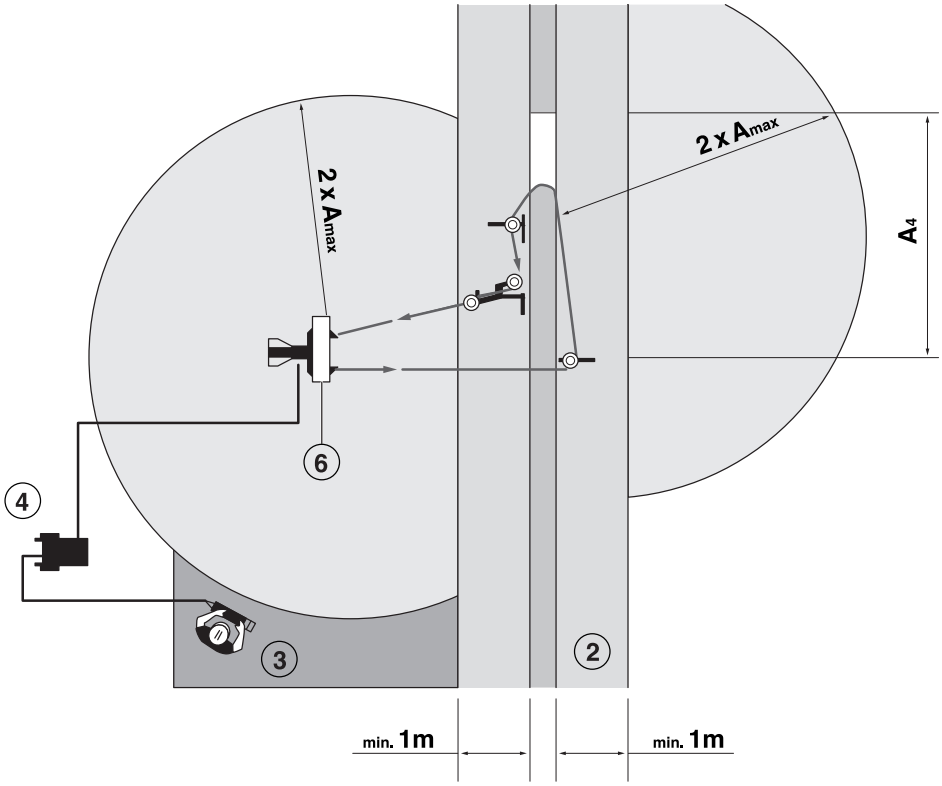
- 周囲の状況をチェックして、マシン使用に影響があるものを除去してください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結するなど危険です。
- 作業場所が清潔ではないとき、安定した足場がないときには、マシンを始動させてはいけません。
- 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。
- 配管や電気ケーブルが、作業現場や切断する材料を通っていないことを確認してください。

マシンの危険領域

作業中、マシンの危険領域の範囲内には、だれも入れないようにしてください。このことは、オペレータにもあてはまります。

壁の切断





A_{max} ワイヤーが自由に動く最大長(A_1 -A_4)

1 危険領域

2 オペレータに対してワイヤーを水平に投射した場合の危険領域

3 推奨されるオペレータ位置

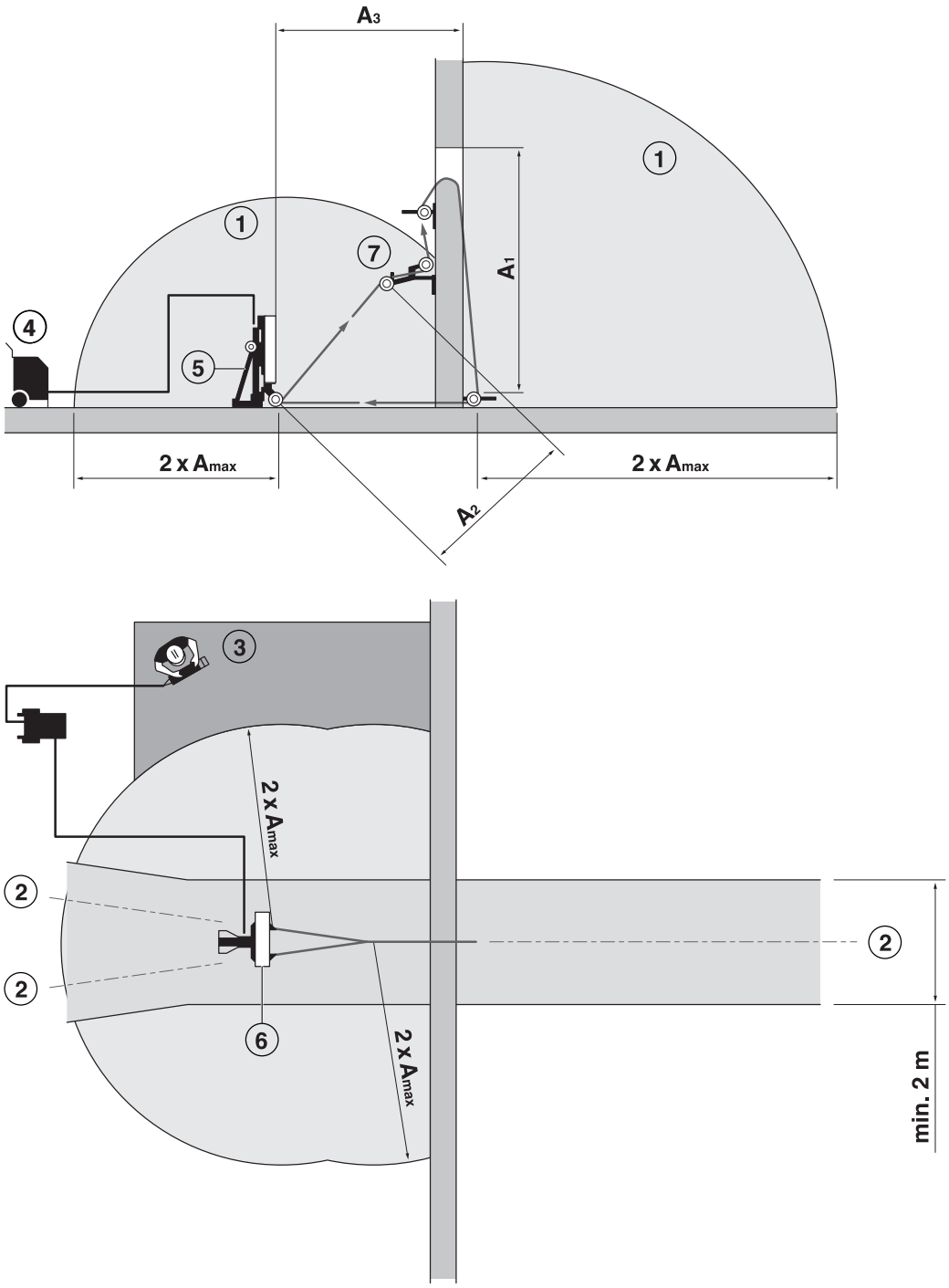
4 パワーパック

5 ワイヤー駆動ユニット

6 ワイヤーガード

7 プーリーホィール

付属プーリーホィールによる切断



A_{max} ワイヤーが自由に動く最大長 (A_1-A_3)

1 危険領域

2 オペレータに対してワイヤーを水平に投射した場合の危険領域

3 推奨されるオペレータ位置

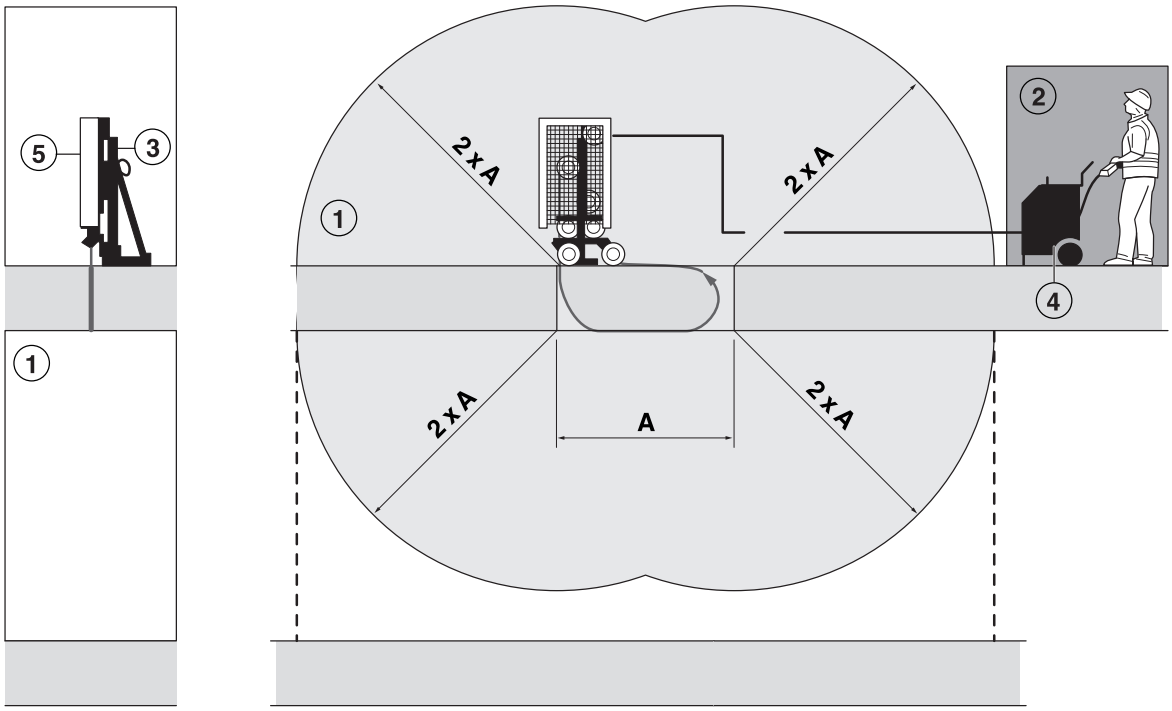
4 パワーパック

5 ワイヤー駆動ユニット

6 ワイヤーガード

7 プーリーホィール

床の切断



A　ワイヤーが自由に動く最大長
1　危険領域
2　推奨されるオペレータ位置
3　ワイヤー駆動ユニット
4　パワーパック
5　ワイヤーガード

基本的な作業方法

- 本機は、ハスクバーナ WS 440 HF + PP 440 HF あるいは WS 482 HF + PP 480 HF と組み合わせて使用することだけを意図して開発されています。その他の利用は禁止されています。
- 本機は、コンクリート、れんが、さまざまな石材の切断を目的として設計されています。他の用途に使ってはいけません。
- マシンは、産業用途における熟練オペレータの使用を意図して開発されています。
- 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。
- すべての部品が良好に動作し、付属品が適切に固定されていることを確認します。
- ガードが正しく取り付けられており、損傷の形跡がないことを確認します。ガードのない状態で切断をしてはいけません。
- 製造者によって推奨されたワイヤーのみを使用してください。製品の正しい選択については、販売店にご相談ください。
- 磨耗あるいは損傷のあるワイヤーを使用しないでください。
- 使用済みワイヤーは、不必要な磨耗を防ぐために、前回使用されたときと同じ方向へ駆動するようにしてください。
- かならず、冷却水を使いながら切断してください。冷却水が足りないと、切片の加熱をまねき、消耗が激しくなります。最悪の場合、ダイヤモンドビーズがワイヤーから飛び散って、ワイヤーソーの近くにいる人間が怪我する可能性があります。
- 切断を開始する前に、切断対象部分を明確にマーキングして、これに従って作業を行うことで、人間またはマシンに危険が生じることを防止してください。
- 切断の前にコンクリートの躯体をしっかりと固定してください。切断されたコンクリートの取扱いについて十分注意をしなければ、大きな被害を引き起こす可能性があります。
- モーターが作動している状態、および管理者のいない状態でマシンを放置しないでください。
- リモートコントロール、またはパワーユニットの緊急停止ボタンへ簡単に手が届かないような状態で、絶対に切断作業を行わないでください。パワーユニットのマニュアルを参照してください。
- 持ち上げるときには、十分注意してください。挟み込みによる傷害や、その他のケガを引き起こす危険のある重量部品を扱っていることに留意してください。

搬送と保管

- マシンを移動させるときには必ずパワーユニットのスイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかりと固定してください。
- 装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。

始動と停止

始動前に

警告！本機は、リモートコントロールおよびパワーユニットにインストールされるワイヤーカッティング用ソフトウエアが必要です。このソフトウエアを装備していない機器は、認定を受けているサービス代理店でアップグレードを受けるようにしてください。新しいソフトウエアがインストールされるまでは、マシンを使用しないでください。

本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

本機は、他の製品と組み合わせて使用します。製品に添付された取扱説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

深刻な傷害を引き起こす危険があるので、関係者以外の人間が作業エリアに入れないようにしてください。

- マシンが正しく組み立てられており、損傷の形跡がないことを確認します。「組立と調整」の説明を参照してください。
- 毎日のメンテナンスを実施してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

始動

- パワーユニットに付属するマニュアルに記載された始動に関する指示事項に従います。

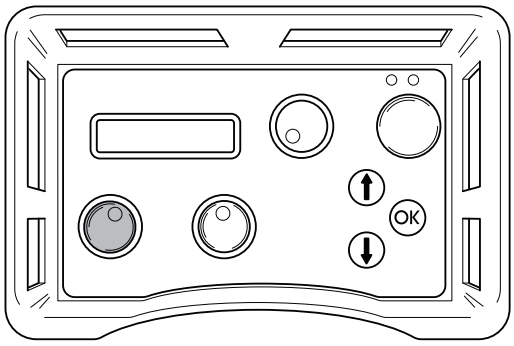
ワイヤーカッティングの始動説明に対する補足

- 矢印キーを使って、操作メニューにあるオプション「ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾓｰﾄﾞ」へ進みます。
- 「ワイヤー」を選択します。「OK」で確認をします。

カッティングアームの位置合わせ

警告！カッティングアームがレールと一直線上で揃った後は、デプスフィードコントロールを使用しないようにしてください。不注意によって、重傷や死亡事故が起きる可能性があります。

- 切断の作業を開始する前に、レールと一直線上になるようにカッティングアームの位置を調整する必要があります。デプスフィードコントロールを使って調整してください。カッティングアームがレールと一直線上で揃った後は、デプスフィードコントロールを使用しないようにしてください。

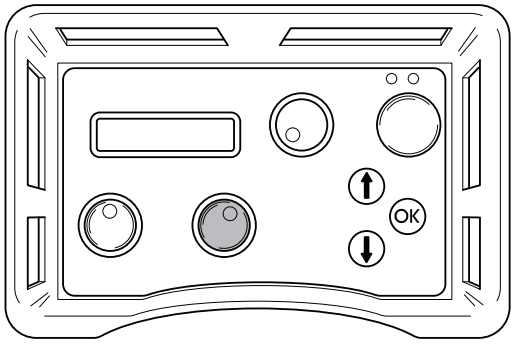


動作時は、デプスフィードコントロールが無効にされています。

ワイヤーへのテンション

警告！ワイヤーに過度のテンションをかけないでください！過度のテンションがかけられたワイヤーは、回転を阻害し、ワイヤー破断を引き起こすことがあります。不注意によって、重傷や死亡事故が起きる可能性があります。

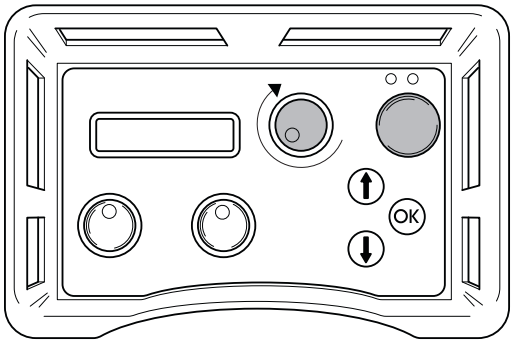
- ワイヤーが、全ホィールへ正常にかけられていることを検査します。
- トラベルフィーディングコントロールを回転させて、切削ラインに対してワイヤーのテンションをかけます。ワイヤーは、全ホィールおよび加工物に対して遊びを持つようにしてください。



始動と停止

回転の始動

- モーター回転コントロールを時計方向に回転させながら、緑色のスタートボタンを押し続けます。コントロールをゆっくりと回します。低い回転速度で始動します。



もし、駆動ホィールがワイヤーの回転を始動できない場合、以下のいずれかが理由として考えられます。

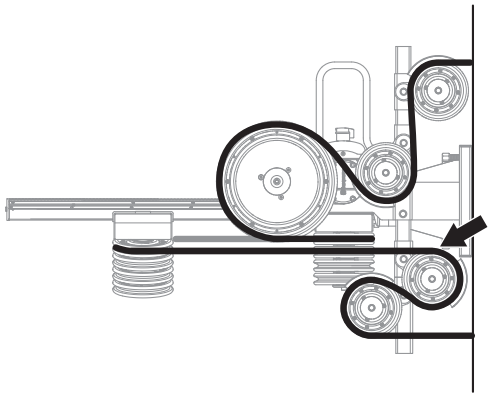
- ワイヤーのテンションが高すぎる。テンションを低くしてください。
- ガードホィールが正しく調整されていない。ガイドホイールを調整してください。
- 加工物に対する接触面が広すぎる。プーリーホィールを追加してください。

作業手順

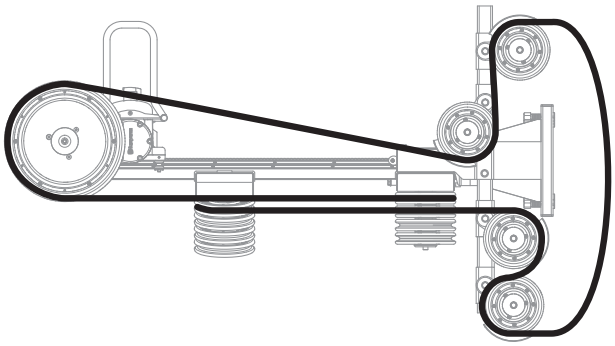
- ワイヤーによる切削が始まったら、最適レベルへ達するまで、速度をゆっくりと上昇させます。「主要諸元」に掲載されている「速度とワイヤー速度」の表を参照してください。
- ディスプレイ上で、出力のパーセンテージをチェックできます。切断時の値は、通常、50〜100%です。
- 切断に要する出力は、使用されているワイヤーソーユニット、加工物に対するワイヤー接触面の大きさ、あるいは、選択されている出力モードなどの要因に依存します。
- ワイヤーの破断の危険を減らすために注意を払い、出力をなるべく低くしてご使用ください。
- 材料が切り離されるときも、ワイヤーのテンションを保持するようにしてください。

ワイヤーの収納

- ワイヤーソーが、レール上の終端の位置へ到達したときでも、ワイヤーは収納されていなければなりません。
- 回転を停止します。
- ワイヤーソーを、ベースプレートの開始位置へ移動します。
- ワイヤーをマガジンホィールへかけて、次に、マガジンホィールへ最も近いガイドホィールを調整します。



- 切削が終了したとき、ワイヤーが加工物を通過したあとでも、ワイヤーがはずれることがないように、ガイドホィールを調整してください。



停止

- トラベルフィードコントロールをゼロ位置にします。
- パワーユニットに付属するマニュアルに記載された指示事項に従います。

一般注意事項

警告！使用者は本取扱説明書に記載されている点検とサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

機械の電源を切り、電源コードをはずします。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

毎日のメンテナンス

- マシンの安全装置に損傷がないかどうか検査します。詳細は、「マシンの安全装置」を参照してください。
- マシンの外側を清掃します。ワイヤーソーの清掃には高圧水を使用しないでください。
- ガイドホィールのラバーが、正常な位置にあり、磨耗していないことを確認します。
- ベアリングを検査します。ホィールを手で回転させ、スムーズに回転することを確認します。

サービス

マシンは、掃除や注油のような毎日のメンテナンスに加えて、サービスを実施する必要があります。切削作業を 50 時間実施した後、マシンは、認定を受けているハスクバーナサービス代理店でサービスをうけるようにしてください。その後は、100 時間の使用ごとにサービスを受ける必要があります。このサービスは、マシンをできる限り長く、かつ効果的に使用する上で、重要なものです。

主要諸元

出力 - 最大、kW/hp	
WS 440 HF	13
回転速度、rpm	0-1200
初期トルク、Nm	
WS 440 HF	100
マガジン容量、m/フィート	10/33
ワイヤー容量、m/フィート	1,7-11,7 / 5.6-38.4
重量、kg/lbs	
WS 440 HF	135/298
回転方向	両方向
保護等級	IP 65
ワイヤー速度 (1200 rpmで)、m/s / フィート/s	24/79

速度とワイヤー速度

スピンドル回転数、rpm	ワイヤー速度、m/s	ワイヤー速度、フィート/s
1000	20	66
1100	22	72
1200	24	79

推奨されるダイアモンドワイヤー

型名	研磨性材質	石灰コンクリート	強化程度		
			低	中	高
C 710	-	-	良好	最適	良好
C 760	可能	良好	最適	良好	可能
C 1000	良好	良好	良好	最適	良好
C 1200	良好	可能	可能	良好	最適

取扱説明書（オリジナル）

1153780-79

2014-09-09